

1. 活動の概要

6月7日(金)1~4時限、松江市立持田小学校で、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。体験活動に持田小校区内の「遺跡探検」と「奈良の大仏」を希望されていましたが、このうち、遺跡探検については、当日は朝から降雨の心配があったため、当初予定していた遺跡2ヶ所のうち1ヶ所のみを見学しました。

授業が始まってすぐに雨が止んだので、最初に遺跡探検に出掛けました。行き先は学校から徒歩10分の「太田古墳群」です。クラスごとに分かれて古墳を回り、外から見学するだけでなく、状態の良い古墳の中に入って石室や石棺の様子等を観察しました。

体育館に戻ってからは、「奈良の大仏」について学習しました。大仏完成までの期間や作り方についてパネルを見せながら説明し、つづいて2クラス合同で大仏パネルに挑戦しました。大仏パネルが完成した後は、クラス別で記念撮影をしました。その後、奈良の大仏が造られた時代背景や大仏の髪型等について解説しました。

最後に、持田小校区内の遺跡や今朝行った太田古墳群について、地図や解説ワークシート等を用いてふりかえりました。また、昨年、教室か発掘現場が見えていて、気になっていたという堤ノ上遺跡の出土状況についても写真で紹介しました。その後、校区内の東前田遺跡から出土した土器等に触れ、古代の人びとが生活の中で使っていた土器の重さや手触り等を確かめていました。

2. 活動の様子

1)持田小校区の遺跡探検



古墳時代のお墓はどんな造りでしょうか？



古墳の中にも入りました。

2)奈良の大仏



奈良の大仏の作り方を学習しました。



2クラスで力を合わせて作業しました。

3)持田小校区の遺跡について



持田小の周りには遺跡がたくさんあります。



古代の土器に触れてみよう！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 遺跡探検で入口はせまそうだったけど、中は私が立てるくらい広くてびっくりしました。
- 古ふんめぐりで持田に古ふんとか少ししかないかと思ったけど、何個もあったので心に残った。
- 今日行ったこふんでどんなごうぞくがいたのか知りたいと思いました。
- 雨で行けなかった円ふんに行ってみたいです。
- 大仏を絵でしか見たことがなくて、あまりそうぞうがつかなかったけど、パズルをして、その上に立ったりして本当のでかさをみれたのでよかった。

2)担任の先生から…

- 地域のことがとてもよく分かった。
- 子ども向けの説明の仕方が、とても分かりやすかった。
- 大仏パネルが量感を感じることができてよかった。
- こんな身近なところにあんな古墳があることを知らなかったので、持田小の教員としても、とても勉強になりました。

3)古代文化センターから

今回の子ども塾には天候に左右される内容が含まれていましたが、先生方の的確な判断により、当日は大過なく実施することができました。遺跡探検では、石室の中には怖がって大半の子が入りたがらないのではないかと予想していましたが、ほとんどの子が積極的に入ってくれました。教科書や口頭での説明では伝わらない、石室中の様子や古代の人々の作業の痕跡等を感じ取ってくれたと思います。また、校区内の遺跡マップを作成したことで、見学した遺跡以外にも、持田小校区内にたくさんの遺跡があることにとても驚いた様子でした。

大仏パネルの作成は時間の都合上、2クラス合同で実施しましたが、協力しながら完成させ、その後の片付けにも積極的に参加してくれました。奈良の大仏は写真でしか見たことがないという子が多く、実際に完成した大仏パネルを見て、その大きさに圧倒された子も多かったようです。

校外での遺跡探検、体育館での大仏パネル作成、座学等、長時間にわたって盛りだくさんの子ども塾でしたが、最後まで集中力を切らさず取り組んでくれました。アンケートを見ると、一番心に残った内容には個人差がありましたが、地域の歴史や文化財に一人でも多くの子が興味を持つ機会になればとても嬉しく思います。